

学校関係者評価報告書

【評価対象年度:令和7年度】

令和8年5月19日

岩手医科大学医療専門学校

岩手医科大学医療専門学校 学校関係者評価のご報告

本校が行った「令和7年度」自己評価の結果について、学校が選任した学校関係者により構成された学校関係者評価委員会に評価していただきましたので、その結果を公表いたします。皆さまから寄せられたご意見、ご提案は、歯科衛生士教育の質向上や学校運営の改善に活かしてまいります。

＜学校関係者評価委員＞
歯科医師 中里 滋樹 氏(なかさと歯科医院 院長)
歯科衛生士 高橋 綾子 氏(盛岡市立病院)

＜評価日時＞ 令和8年5月1日(金)～5月18日(月)

学校関係者評価は、以下の評価基準により、平均点で算出。
〔評価〕

- 3:基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている
- 2:基準をおおむね満たす
- 1:基準を満たしておらず改善が必要

項目1 教育理念・目的・目標

小項目	評価の基準	自己評価	学校関係者評価
1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	2	2.5

評価委員の意見・提案:
入学前や入学後、折にふれ学校の目標、求める人材像を明確に表現することは意義深いと思います。

項目2 教育課程、教育の実施、学修成果

小項目	評価の基準	自己評価	学校関係者評価
1 教育課程の編成と授業科目	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	2	2.5
2 教育の実施	授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	2	2.5
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	2	2.5
4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。)についての目標を定め、その目標が達成できていること。	2	2.5
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	2	2

評価委員の意見・提案:
教育理念や人材育成の実現の視点に即して、新カリキュラムや目標を立て、堅実に努められていると思います。
HPを拝見しました。毎年更新され、工夫されていると思いました。

項目3 学生の受入れ、学生支援

小項目	評価の基準	自己評価	学校関係者評価
1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	2	2.5
	学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。	2	2.5

2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	2	2.5
3 多様な学生に対する支援	適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	2	2
4 学生生活に関する支援	カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	2	2.5
	留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	2	2.5
	学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	2	2.5
	学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2	2.5
	学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2	2.5

評価委員の意見・提案：
課題にあった多様な学生の受入れや支援については、時代のニーズや状況に対応し、検討が必要と思います。学校内外や学生同士にも、実現されれば好影響なことが多いと思います。

項目4 教育実施組織・教員

小項目	評価の基準	自己評価	学校関係者評価
1 教員の配置、募集、採用	教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用していること。	2	2.5
	教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	1	2
2 教員の組織編制等	学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	2	2.5
	教員間で連携、協力体制を構築していること。	2	2.5
3 教員の資質の向上	学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	1	2

評価委員の意見・提案：
課題にあった専任教員の確保については、今後も人員不足で厳しい状況でしょうが、母体大学や歯科衛生士会等の研修で資質向上に向けた取り組みを継続していただきたいと思います。

項目5 教育環境

小項目	評価の基準	自己評価	学校関係者評価
1 教育環境の整備	教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	2	2.5
	学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	2	2.5
	図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。	2	2.5
2 安全対策、防災組織	学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	1	1.5
	火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	2	2.5

3 施設・設備等の点検、改善等	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	2	2.5
	施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	1	1.5

評価委員の意見・提案：
古い施設なので大変ですが、学生の安全や学びの環境保全に取り組んでいると思います。今後も課題への取り組みを進めていただきたいと思います。

項目6 教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目	評価の基準	自己評価	学校関係者評価
1 中期事業計画と財務基盤	当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	2	2
	当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	2	2
2 学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)	2	2.5
3 学校評価の実施と改善活動	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	2	2.5
	学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	2	2.5
	学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	2	2.5
4 社会からの理解と情報の公表	当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	2	2
	教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいること。	2	2.5

評価委員の意見・提案：
財務に関しては、学生確保を含め難しい課題ではありますが、岩手県の歯科業界を安定させるため、歯科医師会、歯科衛生士会とも連携し、魅力ある学校作りに期待いたします。